

令和5年度「新潟の産業・企業を知る講座」委託業務実施報告書

1 取組タイトル 地域振興論

- (1) ①県内企業経営者等による講義・講演  
②県内企業見学

(2) 取組の目的

地域振興の在り方について、総合的な視野から授業を行なう。外部講師による教室での講義に加え、現場を目で見て学ぶことで、新潟県内への定住、就職促進に繋げることを目的とする。

(3) 取組の内容（日程、会場等を含む。）

授業は本学の教員に加え、外部講師を含む様々な業界の講師により、オムニバス方式で実施する。また、新潟県内の企業、自治体などを実際訪れるフィールドワークを行い、県内就職への意識を高める。

〈講義日程〉

①県内企業経営者等による講義・講演

県内の企業経営者等を招聘し、地域振興の現状や取組について講義いただく。

講師名(敬称略)	役職等	講義日	講義テーマ	参加者数	指定企業
小田 芽久美	アステル・メグルラボ 代表	令和5年 10/2	よりよい人間関係と働き方を考える	35名	
佐藤 可奈子	Women farmers japan 株式会社 代表取締役	10/16	社会課題を解決するローカルイノベーション	35名	
細山 和美	柏崎市産業振興部もの づくり課 課長	11/6	柏崎市のものづくり産業について	20名	
田辺 靖典	柏崎市産業振興部商業 観光課 課長代理	11/20	柏崎市の観光の現状と課題	36名	
山際 克也	第四北越銀行コンサル ティング事業部 部長	11/27	新潟経済「大変革期」到来！ 人口減少、後継者難と立ち向かう中 小企業	36名	
小保方 薫	株式会社ブルボン総務 推進部 CSR 企画室 室 長	12/18	CSR の概念と実践	24名	
井口 智裕	株式会社いせん 代表 取締役	12/25	「100年後も雪国であるために」 宿泊施設を核とした観光地域づく りの取組事例	27名	
西村 遼平	(有) la Luce e L'ombra 代表取締役 Kitchen105 オーナーシ ェフ	令和6年 1/15	民間ディベロッパーが地域にもた らす効果	32名	

会場：本館 2 階 202 教室

## ②県内企業見学

新潟県の産業の強みや企業の魅力あふれる事業の実態を知り、産業の現場を体験することによって、インターンシップや就職活動に踏み出す第一歩とするための見学。

見学先	所在地	見学日	見学時間	参加者数	指定企業
朝日酒造株式会社	長岡市朝日 880-1	10/30	14:30～15:30		
マルソー株式会社 長岡新産 SLC	長岡市南七日町 53	11/13	13:30～14:30		
八幡開発株式会社 (ハコニワ)	柏崎市横山 440-1	11/15	15:00～16:00		
株式会社阿部建設	柏崎市比角 2-3-26	12/4	13:30～14:30		
株式会社テック長沢	柏崎市大字藤井 1358-4	12/11	13:30～14:30		

※当初、10/23 に訪問予定をしていた柏崎消防本部は先方より断りの連絡があり中止となった。

## (4) 取組協力県内企業数

a 協力県内企業数	b うち県指定企業数
12	0

### a 企業一覧

八幡開発株式会社、株式会社第四北越銀行、株式会社ブルボン、Woman farmers japan 株式会社、柏崎市産業振興部、(有)la Luce e L'ombra、株式会社テック長沢、マルソー株式会社、株式会社阿部建設、株式会社いせん、朝日酒造株式会社、アステル・メグルラボ

### b 企業一覧

## (5) 参加対象学生の学年、学部及び人数

経済学部経済経営学科 2 年生全員・全学部 2 年生以上の希望履修者  
(履修登録者数：50 名)

## (6) 効果検証の結果

アンケートにより本取組による学生の意識変化等について調査し、その効果の検証を行った。なお、アンケート調査は、「新潟の産業・企業を知る講座」の書式で実施した(回答数：35)。

まず、受講した学生の属性から確認してみる。回答した 35 人は全員 2 年生であり、県内出身者が 14 人、県外出身が 14 人、無回答が 1 人であった。このように、県外出身者が約半数を占めている。

次に、受講した学生の意識について検証していきたい。「問 4-② 登場企業のインターンシップに参加したい」で 5 段階中 4 以上と回答したのは、全体では 37.14%(回答数 13)であり、そのうち 69.23%(回答数 9)が県内出身者であった。県内出身者の過半数は、本講義にご協力いただいた企業へのインターンシップに積極的な姿勢をみせている。また、「問 5 この講義を受講したことで、県内企業への興味や関心が高まったか」という質問に対しては「①高まった」と回答したのは、全体では 68.4%(回答数 24)であった。さらに詳しくみていくと、県内出身者だと 94.12%(回答数 16)と高い割合であるのに対して、それ以外だと 44.44%(回答数 8)と半数以下にとどまっている。

以上のことから、本講義は受講する学生、特に県内出身者の就職意識にポジティブな影響を与えるものであることが明らかとなった。その一方で、県外出身の学生の興味・関心が高まるようなさらなる工夫が必要であることも示唆されている。そこで、受講する学生のニーズを意識しつつ、ご協力い

ただ企業を選定することで、より魅力的な講義となる可能性があると考えられる。